

DO IT NOW

その先へ

株式会社ホテルパーク

代表取締役社長 山岡 利安さん



創業は、明治二十七年。初代の山岡良助さんが旅館「明治館」を名古屋の大須で始めました。その後、明治三十八年に焼失してしまいましたが、大正六年に二代目の慶太郎さんが名古屋小田原町で「山岡旅館」現在の地にその支店「港館」の営業を開始しました。間もなくして戦争が始まったため、名古屋から岐阜に疎開して「港館」のみの営業となりましたが戦後は進駐軍の将校官舎に使用されることとなり、長い間接収されてしまいました。その期間は六年。湊町電停前の借家にて仮営業を強いられましたが、昭和二十七年の接収解除によりようやく営業再開となりました。昭和三十三年に「ホテルパークみなと館」、平成元年には「ホテルパーク」に名称を改め現在に至ります。令和六年には創立百三十周年を迎えます。

古の「看板料理」を今に伝えたい 「金鍋」「銀鍋」

ホテルパークの歴史の中に「八層閣」という和洋料理店があります。これは、明治三十八年に焼失のため廃業となった「明治館」の後、二代目の慶太郎さんが名古屋市長島町にて展開した店です。看板料理は金と銀の鍋を使って提供した「牛鍋」、その名も「金鍋」と「銀鍋」。

味もさることながら見た目からも人気を呼び、連日行列が出来るほどでした。創業百二十周年を迎えたときは「牛鍋」が、復刻されました。現存するレシピがなく試行錯誤する中で、利安さんが自ら神奈川県で牛鍋を扱う老舗へ出向き、自分の舌を頼りに思いを込めて再現させました。今ではコースのメニューに組み込まれ、古の「看板料理」に出会うことが出来ます。

「家業をつぐついでいふ」

利安さんは、小さい頃から家業を身近に感じ「自分が後を継ぐ」という認識で育ちました。

二十七歳までは熱海での修行、海外に語学留学するなど、研鑽を積んできました。

海外留学で培ったものは、訪日外国人観光客と英語でコミュニケーションを楽しむ事が出来ることとグローバルな感覚。どちらも今日に活かしている大切な財産です。

ホテルパークには今も語り継がれる二代目女将、はまさんという方がいます。修行中の慶太郎さんの後を追って京都のホテルで働き、外国人の接客をするなかで、独学で英語を習得したという大変アクティブな逸話が残っています。岐阜に来てからは、「英語が話せる女将さん」と親しまれ、当

時の岐阜市長に何度も通訳を頼まれたほどだったそうです。利安さんのグローバルな視点は、はまさんから繋がっているのかもしれない。

「より多くの方々に喜ばれるよう 先代からの「二つ」の教え

五代目を継いだのは四十二歳の時。

利安さんには、先代である父の常男さんから託された一つの目の教え、経営信条についての基礎となる教えがあります。それは、「ミドルクラスをターゲットに」という教えです。

実はこの教え、先々代の良男さんからの教えでもありました。「コスト面やリスクを考え、「大きいマーケット」で商いをした方がよい」という考え方です。

実はこの教えには、「より沢山のお客さんに喜んでほしい」という意味も含まれています。そのエピソードのひとつが、ホテルパークの屋上にある「露天風呂」です。これは、先代の常男さんの経営信条と心意気で作られました。

「屋上に風呂を備えることはコスト的には大きなリスクがありました。しかし先代は、お客様の満足は必ずここに現われると判断しました」

結果、岐阜城を背景に、金華山と長良川の絶景を望む露天風呂からの眺望のすばらしさが多くの方々々に注目され「岐阜城に一番近い露天風呂」と称され、評判の宿となりました。

先代のホテルパークの大きな強みである絶景を活かすという経営信条を見誤らない決断は、間違いありませんでした。もうひとつは「義務先行、先に奉仕」という教えです。

利安さんは県や市の同業者の組合の理事長や地域の様々な役割を引き受けています。

それは様々な方の役に立ちたいと役を進んで受けていた父の背中を間近で見てきたからです。

「業界のために汗を流すことは必要なことです。そして、

地域で認められ必要とされるよう商いをすることが大事なことでと教えられました」

その上で「見栄を張るな、奢るな」とも教えられました。具体的には社員、出入りの業者さん、地域社会への貢献、の三つが同時に達成できる「三方良し」の理念を大切に、たとえ重役を引き受けても奢らず、流されず、どこか「俯瞰」して、長いスパンでものをみるということを心がけています。

若い層にも魅力あるおもてなしを

観光業の主力である「宴会」は、時代とともに縮小し、更にコロナ禍の、省けるものはすべて省いていく日常が主流となるなか、さらに減少しています。また、高度成長期は皆と同じ内容に満足、逆に同じが良いという時代でしたが、近年は趣味の多様化などにより、個々の満足度が求められ、きめ細かい対応がより必要となりました。

利安さんは、これからは個人の需要がますます大事になっていくと考え、SNSでの発信に注力し、口コミの影響に期待しています。

また、今後は更に会議でも使ってもらいやすいよう、環境の完全整備、古くなった建物のリニューアルなどを考えています。

「コロナ禍だからと立ち止まってはいただけません。ダーウィンの『進化論』で環境に適して変わっていった者が生き残ると述べたように、私たちも生き残りをかけて精進しています。美しい長良川や金華山、鵜飼を楽しむことが出来る『長良川河畔』という立地をうまく活かして、若者もどんどん取り込んでいきたいと思っています」

先代がよく口にしていた言葉、

「思い立ったらすぐやれ。DO IT NOW」
先代の教えは、次世代へ引き継がれていきます。



株式会社ホテルパーク

所在地 岐阜市湊町397-2
TEL 058-265-5211
URL https://www.hotelpark.jp



「牛鍋」
牛肉がブロックになっており八丁味噌と特製だしでお肉を焼いて、卵からめて食べます。